

合掌

覚悟を決めること。

去る、7月6日土曜日に、専有道場の床はりジョイントマットを敷く作業を、拳士にみなさんの協力で行いました。70畳以上の広さがありますので、土日の2日間くらいかかるかと思っておりましたが、手際よく作業を進めてもらい、午後からの半日の作業で終わりました。暑い中での作業でした。ありがとうございました。

今回、コンプライアンス（法令順守）の観点から、少林寺拳法の宗教法人としての側面である、易筋行は、公共の施設では行わないという本山からの伝達で、今まで、自己修練の集いである「クラブ」としての活動を、来年の3月一杯で中止するということになりました。

この通達を受けて、各道院は、それぞれ修練場所をどうするかということで、頭を悩ませています。民間の施設等で、宗教活動を許可する場所を借りるか、専有道場を作るかということです。専有道場も、少林寺拳法の修練が可能な広さがないといけません。このことについては、今年の初め、この通達がきてから、拳士の皆さんにも相談していたことです。私立幼稚園のホール等も可能だということで、そういう場所も念頭に置きながら、さがしてみたのですが、なかなか適当な場所がありませんでした。本山もなんという無茶なことを言うものだと思ったりもしました。

しかし、今回、このことがきっかけで、道院の在り方について考えさせられました。本山は、「地元根差した道院活動」を、しっかりと行ってほしいと、以前より言っていました。実際の私は、住居が道院から離れており、地域に根差した活動には限界がありました。学校開放団体の奉仕活動に参加することくらいです。単に少林寺拳法を教えに来ている指導者にすぎませんでした。自分の家の近く、地元で道院活動を行えば、もっとやりようもあるのではないかと思います。思いもありました。

そこへ来て今回の問題です。これは、考えようによっては、良い機会かもしれないと思い、道院近くへの転居を含め、道院活動のできる建物をさがしてみることにしました。何となく登録したネットの不動産のサイトから、連絡があり、そこで、ちょうど売りに出ている今回の物件に出会いました。建物としては十分でした。幸い家族も賛成してくれました。開祖は「私財を投げ打って」道場を建てました。私も、道院長として、覚悟を決めました。これも何かの縁です。本気になって、一生懸命、自分の信じる道を歩いて行くしかないと思っています。

今後とも、拳士の皆にはいろいろと手助けいただくことがあると思います。よろしくお願いいたします。

新道院のスタートに向けて

現在、新しい道院の申請を本山に行っております。礼拝施設の移転に伴い、少しずつ変えていかなければいけないこともあります。許可が正式におりましたら、道場開きと合わせて、なにかしらの会を催したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、現在、道場の方は、修練可能な状態になっていますので、練習をしたいという場合は連絡いただければ修練できますので連絡下さい。先週、埼玉大学の少林寺拳法部の学生と修練しました。十分な広さとは言えませんが、安全面に注意しながら、やっていければと思います。

結手

連絡事項

1 夏合宿の中止について

本年度の夏合宿は中止します。理由としては、お盆休みにかかっており、参加出来ない拳士が多いことと、次の週に全国大会・世界大会があり、日程的にきついことです。連絡が遅くなり申し訳ありません。

来年度はまた、実施に向けて計画したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

2 祝・各種全国大会への参加

6月の県大会の結果から、各種全国大会に参加します。健闘を祈ります。

○少林寺拳法・全国中学生大会 男子単独演武の部 梶谷空慶拳士

○少林寺拳法・全国大会 一般男女の部 澤田貴宏拳士 坂本琴望拳士

3 お盆休みについて

8月9日(金)、13日(火)、16日(金)はお盆休みです。